
◎議案第84号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（稲葉昭宏君） 日程第1、議案第84号 平成28年度松崎町一般会計補正予算（第4号）

についての件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（齋藤文彦君） 議案第84号は、平成28年度松崎町一般会計補正予算（第4号）について
であります。

詳細は担当課長をして説明します。

（総務課長 山本秀樹君 提案理由説明）

○議長（稲葉昭宏君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

質疑はありませんか。

○1番（伴 高志君） 歳出の・・・、いま課長から説明がありましたとおり、職員の異動その他
中途退職者がいらっしゃるとか、そういった部分に関して、もう少し詳細の説明をお願いした
いんですけれども・・・、あえてこの議場で個人的な理由とか、そういうことはもちろん省きま
すけれども・・・。まず16ページの一般管理費の・・・、ここが・・・、123万円、これは職員が1
人・・・、1名分ということですか。

○総務課長（山本秀樹君） この部分は、異動等に係る部分については、人事異動、この予算
を組む時には、まだ今年の人事異動の組織図になっておりませんので、昨年の中での給
料計算をしてあります。この予算が決まってから異動を行うものですから、そうすると、そこ
にいた職員で、例えば、このポストにいた職員が年間給与額が300万円でしたよと、それが異
動によって、今度ここにきた人が250万円だということになると、50万円その科目から支出が
減るということになります。そういう異動によって出っ込み引っ込みが出てくるので、その部
分をトータルでやったということで、この一般管理費では、総務課、企画観光課、出納室等で
20名以上の人間の部分をここだけでやっているということになります。

そして、今回途中で辞めた職員等もここにいたものですから、その部分が増えたとか減った
とかということで、総額としては、この金額になっているということです。

なお、もう1人は先ほど言ったように、いま松崎町で休職中の職員がいるわけですがけれども、
年内には復帰できる見込みもあるだろうということで予算計上もしていましたけれども、病院
等の話し合いの中で、とりあえず、来年度当初からいこうというような話になりまして、今
ハビリでたまに来てはいますが、一応そういう形で今年度からの復帰はできなくなったと
いうことで、今回減額をしたという内容になります。

いずれにしても、今回の人事異動によるというのは、当初予算で組んだ時は、まだ異動の前なので、これは 27 年度の体制の予算になっていたものを 28 年度の実際の給付する額に合わせるという時のための補正になると理解していただければと思います。

○議長（稲葉昭宏君） ほかに質疑はありませんか。

○6 番（福本栄一郎君） ないようですから、2～3 お伺いします。

22 ページの負担金、補助及び交付金の中で、静岡県東部ドクターヘリ格納庫整備事業費△73 万 3000 円ですけれども、それはもうできたということでしょうか。

前に伺ったんですけれども、伊豆の国市ですか、旧伊豆長岡町のスポーツワールドの跡地をということで、伺っていますけれども、この進捗状況と、それから何機分の駐機場ですか。その辺、まず 1 点お伺いします。

それから、次の 24 ページの農地費の道路等応急対策業務委託 64 万 9000 円、その下の委託料で道路等応急対策業務委託 84 万 8000 円。関連で、次の 26 ページの河川等応急対策業務委託 230 万円になっていますけれども、この個々の内容は、説明は省略しても結構・・・、いいです、それは。ということは、私の聞きたいことは緊急業務ですから、風水害、先ほどの説明の中でも台風等によって、集中豪雨によって・・・、その応急工事はわかるんです。その後の本復旧工事はどうなっているかということと、それから町の取り組みとして、災害復旧費・・・、いわゆる国庫補助でやる災害復旧費の今後の取り組み方、考え方ですよ、町としての方針。これは普通災害と激甚災害ということがありますけれども、いま地震対策、津波対策いろいろと・・・、もちろん台風もあります。そういった場合で、大規模災害を受けた場合には当然国から査定官が来ます。当然国が・・・、義務ですから、県、市町村が代わって復旧すると・・・、そういったことで、災害の査定の取り組み方が・・・、これは・・・、どういったものかわからなくなると思うんです。技術の継承ということも含めて、その取り組み方、考え方・・・、個々の内容はいいですよ、これは当然応急ですから。その後の本復旧の考え方と今後の町としての・・・、大規模災害が発生した時の災害復旧費の取り組み方、その辺の考えをまず 1 点お願いします。

○健康福祉課長（馬場順三君） 1 件目、ドクターヘリの格納庫のご照会でございますけれども、当初 1 億 5000 万円の事業費を見込んでおりましたけれども、その後詳細設計の段階で事業費自体が 9836 万 5000 円になったという形でございます、それに伴います負担金の減額でございます。

格納庫につきましては、ヘリコプター 2 機分の格納庫を整備しておりますけれども、進捗状況のパーセントについては、現在、把握はしておりませんが年度内の完成に向けて工事

の方は施工するという事で伺っています。以上でございます。

- 産業建設課長（高木和彦君） 災害復旧に関する事についてのお話をさせていただきます。まず、9月14日に大きな災害がありまして、今回このような形で当初予算を使ってしまいましたので、今後こういう災害があった時のために、補正をして緊急的なものを確保している状況です。

災害についての考え方なんですけれども、災害が発生いたしますと国の査定官が来ていただいて災害査定をして、その後本設計をして今度は工事管理、完成という流れになりますけれども。静岡県内、各市町で、これを各町ごとでやるというのは大変だろうというようなことがありまして、いま県の方でこういう災害があった場合には、県の職員を派遣するというような制度が、この28年度にできてきましたので、今後大きい災害があった時には県の職員が災害なんかについての経験がある、設計の技術がある者を派遣していただいて、災害に対応する形になっております。

- 6番（福本栄一郎君） わかりました。それで健康福祉課長の方ですけれども、いま2機分ということで、将来を見越して・・・、現在は1機ですよ。これはいろんな政策的な・・・、国、県の考え方がありますけれど、わかりました。

それで、わかる範囲で結構ですけれども、この駐機場が2機分の格納庫というんですけれども、現在の・・・、順天堂の屋上にありますよね。あれはもちろん着陸専用ですけれども、それはそのまま残すという考え方ですか。わかる範囲内でいいです。それだけ答えてくれませんか。

それから、今度は変わりました、27ページの下田地区消防組合の負担金72万6000円増額になっていますけれども、これは現在・・・、確か約5億3000万円ですか、西伊豆消防署をいま建築していますよね。その負担金であるかどうかということをお教えしてくれませんか。以上、2点です。

- 健康福祉課長（馬場順三君） 現在、ヘリコプターの格納につきましては、順天堂大学の屋上に駐機しておりまして、上にシートなんかを被せまして置いているというような状況でございます。この格納庫ができますと、そちらの方に移動するという形でございます。ヘリポート自体はそのまま残るというような状況でございます。

- 総務課長（山本秀樹君） 27ページの常備消防費の負担金の補正の関係でございますけれども、これは、西伊豆の新たな庁舎の建設分は入っておりません。

広域消防につきましては、新たに女子隊員も今度入ったということで、女子隊員加入に係る仮眠室の整備とか、そういう新たな・・・女性が入ったということでの整備に費用がかかったと

ということで、その部分の経費になります。500万円ほど経費がかかっています、松崎の負担部分が14.何パーセントというのがありますので、その比率での負担金という形になっています。

○議長（稲葉昭宏君） ほかに質疑はありませんか。

○2番（渡辺文彦君） 25ページが一番下の観光費のところなんですけれども、金額は大した金額じゃないんですけれども。美しい伊豆創造センターのところに臨時雇賃金、この賃金自体ではなくて、美しい村と町との関係を・・・、どういうふうになっているのか、その辺を聞きたいんですけれども。

○企画観光課長（山本 公君） 美しい伊豆創造センターにつきましては、昨年、27年4月1日からスタートしたと、それ以前に7市6町の首長会議等で伊豆半島内の観光団体あるいは道路関係ですとか、そういうものをまとめて伊豆は一つということでやっというふうなお話がありまして、平成27年4月1日にセンターということでスタートいたしました。

当初各市町から1名ずつの職員を派遣してくださいというようなことがありまして、うちの方は正規職員の人数も限られていることの中から、臨時の方を1人雇用しまして派遣をしたと・・・。

当初、平成27年におきましては伊東市役所に事務局があつて、やっていたわけなんですけれども、現在は伊豆市の修善寺の総合会館の中に事務所を移して、そこの中で業務にあたっていると。主に美しい伊豆創造センターの部分と伊豆半島ジオパーク推進協議会、そういった業務にあたっているということでございまして、ジオの関係については、清水町ですとか長泉町なんかも入っていますけれども、伊豆は一つということの中で、観光の振興の業務をやったりとか、あるいは道路関係、縦貫道なんかの促進を図るような業務をやったりとか、そういう業務にあたっているということでございます。

○議長（稲葉昭宏君） ほかに質疑はありませんか。

（発言する者なし）

○議長（稲葉昭宏君） 質疑がないようですので、質疑を終結したいと思います、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（稲葉昭宏君） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

(発言する者なし)

○議長（稲葉昭宏君） 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

(発言する者なし)

○議長（稲葉昭宏君） 賛成討論なしと認めます。

これをもって討論を終了します。

これより議案第84号 平成28年度松崎町一般会計補正予算（第4号）についての件を挙手により採決します。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(挙手全員)

○議長（稲葉昭宏君） 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

暫時休憩します。

(午前 9時37分)
